



**都市の人の巡りは、からだの血の巡りと同じですね。  
血の巡りがいいとからだが生き生きするように、人の  
巡りがよければ都市は元気になります。**

**自転車は、都市の人の巡りを助けます。歩くぐらいの  
気軽さで距離は3倍行け、ちょっと遠くても出やすく  
感じるのです。**

**てんてんけんは、自転車が市川市民の交通手段、生活  
における重要なものとして位置づけられるような、そ  
んなまちづくりを目指しています。**



# 自転車天国研究会

自転車を  
いちかわの街づくりに役立てたい



## メンバー



光井スイスイ浄司



中川スイスイ周史



湊スイスイ誠也



鈴木スイスイ雄高



くずはらスイ〜とまり



三浦スイスイ栄治



Ninja服部スイスイ昇



谷口スイスイ範之



大平スイスイ秀彦



田中スポーツィ正保

# 自転車は

- 健康にいい
- 街に出やすい
- 環境に優しい



まずは、水と緑の街いちかわを楽しむ  
**自転車ツアー**から始めました

# 市川を自転車で



ニューポロイチに出展

# 市川は

## ● 自転車が多く利用されている都市

**自転車利用率 千葉県 1位**

自転車の利用率（自転車の交通機関分担率）

市川市：18.1% 浦安市：12.7% 千葉市：10.6%（平成10年）

**自転車の保有 10人に7~8台**

40万人（6~79歳）に対して、自転車保有台数31万台（平成16年）

市街地では  
クルマより  
人を中心に

市街地の生活の移動手段が、クルマではなく自転車が中心になると

**街が落ち着く、穏やかになる**





# 行徳・交通至便の住宅地

- 土地が平坦
- 道はわりと広く、配置は規則正しくメッシュ状
- 街のどこにでも自転車で15分位あれば行ける



生活の移動手段として

- 自転車を使いやすい
- 自転車路のネットワークをつくりやすい

## 市川市・行徳地区



# 行徳・市街地に隣接する 臨海部に

- **いちかわの海・三番瀬がある**  
遠浅の静かで美しい海。貝や海苔や魚がとれ、陸側  
後背地に鳥と樹木が織りなす 宮内庁鴨場～野鳥の  
楽園が広がっている
- **市街地からそこに行くには**  
歩くと遠く、車では面倒、**自転車**がちょうどいい

## 東京湾の宝石

### いちかわ・三番瀬



- **東京湾の大循環**

東京湾の流域人口は3000万人と言われ、森の営みと人の営みは、川を通して海に流れ、海でとれた魚は人がいただく

- **最後の里海**

その東京湾、コンクリート護岸が続く中で最後に残された里海

- **それが 三番瀬・野鳥の楽園**

そこには自然の営み、漁業の営み、住む人との触れ合いが調和した、ブルーカーボン・里海の世界が広がっている



# 今

## この行徳臨海部の 街づくりが始まろうとしています

### 行政では

地域特性を活かした持続可能な  
街づくりを考えています

- 三番瀬を身近に感じ、人と自然が共生する街づくり
- 海に触れあえる海浜づくり
- 遊歩道で水と緑をネットワーク
- 市川塩浜駅周辺に、にぎわいとスポーツの場を創出
- 市川漁港は市民と共存し、周辺の街づくりと連携する漁港へ

### 行徳臨海部



自転車で行徳臨海部の街づくり提案

# 臨海部での人の移動は

自由に移動は人の根源的欲求

- 誰でも自由に移動できて、
- 環境に負荷をかけないように、
- 人が域内を回遊し、思うところに滞留できるようにしたいですね

臨海部は海に面して3 kmある



遊歩道に加えて **遊輪サイクリングロード** を整備してはどうでしょう

移動は  
自転車とマイクロモビリティで  
子どももお年寄りもハンディを持った方も移動できる



市川塩浜駅前に  
シェアサイクル・ステーションを  
JR線で来た広域客にも利用してもらう



自転車で  
行徳臨海部の  
街づくり  
提案

# 遊輪 サイクリングロード

臨海部の  
シンボルに

市川塩浜駅を基点とする  
仮称塩浜マリンロードを  
中心に以下の3本で構成

- 仮称塩浜マリンロード
- - - 市川漁港先サイクリングロード
- - - 江戸川CR接続サイクリングロード  
(びあばーく妙典と三番瀬を結ぶ)



臨海部のサイクリングロードは

二人並んで走れる  
ゆとりがほしい

自転車で  
行徳臨海部の  
街づくり  
提案

# 行徳市街地と臨海部を 走り易い自転車路で結んで 三番瀬を市民の身近な場所に！

子どもたちが三番瀬に  
友だちと自転車で  
気軽に遊びに行けるようになると  
その記憶はいつまでも残り  
行徳を自分の故郷として  
感じるようになる  
でしょう



市街地と臨海部を結ぶ下図 6 本の道路と、  
これに準ずる道路を基幹自転車路とし、

既に路面に自転車マーク等の表示がされていると思いますが  
さらに 次の観点できめ細かく整備したいところです

- 自転車利用の最大の障壁は安全上の懸念で、人の実感が大きく影響する

路面の状態、レーン幅、路上駐車、駐輪場所、交差点の状況等、地域の方、商店街や事業所の方、行政の方と話し合いながら、見直していきたいです



自転車で  
行徳臨海部の  
街づくり  
提案

## 基幹自転車路の整備が進めば 次は 街区内の生活道路 を

車より自転車通行を優先する道路にしたいですね

自宅の前から、目的地まで  
自転車路が流れるように  
つながっていると  
街に人が  
巡る



▶ やり方はオランダ等ヨーロッパの自転車都市  
が参考になります



自転車に乗って～ 行徳を住みよい豊かな街に

みんなでオープンに話し合う機会を  
つくっていきたいと思います！

